

◇関連作品【No.18】春日・住吉大明神像、【No.19】春日権現験記絵

インド行き断念

明恵



お経よし、袈裟よし、地図よしつ。とうとうインドか。旅行計画も作ったし、あとは下痢止めを入れれば準備完了じゃ。お釈迦さま、待っててくださいいねー！喜海、お前もぼーっとしとらんで、とっとと準備せんか！

喜海



は、はいっ！



イテテテテ。脇腹が…、背中も痛い！インド行きの話をすると体中に激痛が走るんじゃ。



大丈夫ですか、師匠！



これは行くな、というお告げかもしれん！こうなったら、くじで決めよう！



くじですね、至急作ります！「行くべし」「行かざるべし」はい、できました！



では、引こう。えいっ！「行かざるべし」じゃ！残念無念……！



残念です！



残念…

お釈迦さまが生まれたインドにどうしても行きたかった明恵さんは、生涯に二度、インド行きの計画を立てます。ところが二度ともインドに行かないほうがよいという春日明神のお告げで、泣く泣く断念しました。

Dear 鳥殿

明恵



「ご無沙汰しております。ずいぶんお会いする機会がなく、残念です…。鳥殿へ」よし、できた。この手紙を荏磨島に届けてくれ。

喜海



島のどなたに？



鳥といったら島じゃ。ほら、ここに「鳥殿へ」って書いてあるじゃろ！



は?? 島って、アイランドの島？



イエース。カルマ・アイランド。お前とわしが昔修行していた荏磨島じゃ。わしの大事な友達なんじゃ。



友達…。わかりました、島へ届けばいいんですね。それで島に持って行ってこの手紙をどうすればいいんですか？



「明恵からの手紙です」と大声で言って捨ててくれればいいじゃ。



島で拾った石↓

明恵さんは手紙の中で島のことを「本当に心が通じ合う友達はあなたです」といっています。島だけでなく、木や石、動物なども同様に考えていました。海の魚や貝を救済するためにお経をあげた、というエピソードも残っています。

エスパー明恵さん!!

明恵



ああ!!竹やぶにいる小鳥が鷹に食われかけておる!追っ
払って助けるのじゃー!

喜海



ええ——!?いきなりどうしたのですか?今まで静かに
坐禅していらっしゃったのに:しかもここからでは、竹や
ぶの様子なんか一切かららないですよ!...まさか師匠は
透視ができるんですか!?



そうじゃ。何もたいしたことではない。わしのように仏の
教えを突き詰めれば誰でもこのように自然となれるのじゃ。
喜海も修行に励むのじゃよ。

はい!...か、かげで悪いことをしたら透視されそうだ:。
これからは自由奔放に振舞わないう気をつけよう:。)



(にっこり)



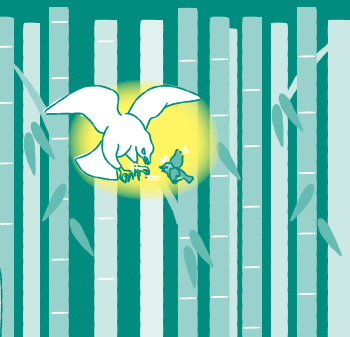
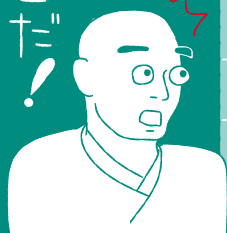
(まさか心まで読めるの!?)



透視中

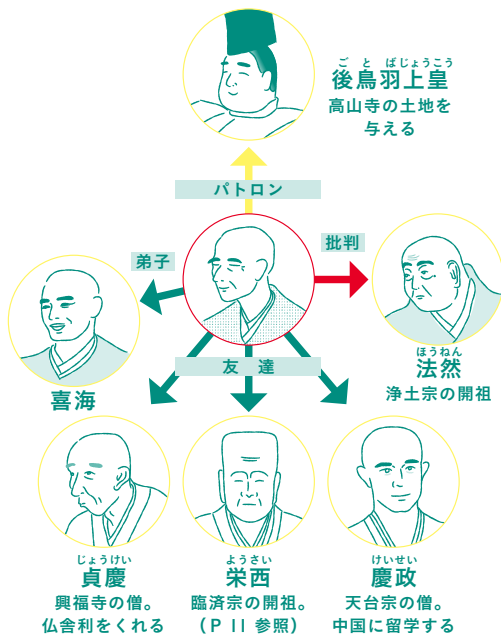


本当だ!



明恵さんは離れた場所の様子を察知することができる、不思議な力を持っていました。そしてその力で、遠い場所で危険な目にあっている動物を、何度も助けてあげました。弟子たちはこのことを知ると自分達の行動を改め、自由に振る舞わなくなったといいます。

◇関連作品【No.37】法然上人像、【No.38】選択本願念仏集、【No.39】摧邪輪



師匠が仏道に対していつも真剣だから、みなさんついて来てくれるんですよ。



はっ！そうじゃった。後鳥羽上皇さま、栄西さん、貞慶さん、慶政さん…。わたしは仏の教えでつながった友がおる…！



いやいや、でも師匠を支持してくれる方もいるじゃないですか！



き、喜海、おぬしまで…！わしの考えの方が古いの？ナウくない？



えー。でも民衆には人気あるんですよ。師匠の考えはちよつと保守的ですし。



けしからん！わたしは色々な宗派と交流して勉強しておるが、そんな教えは認められん！あの法然殿がこんな教えを広めるとはショックじゃ…。



喜海

最近流行の宗派ですね。なんでも、念仏を唱えれば救われるとか。



明恵

むむ！何じゃこれは？喜海、おぬし浄土宗を知っておるか？

明恵さんと仲間たち

明恵さんの生きた鎌倉時代は、浄土宗など新しい仏教の宗派が開かれました。明恵さんはこれらの宗派に比べると保守的な立場でしたが、仲が悪いということはありませんでした。浄土宗の法然さんのことは尊敬していたものの、その教えだけは納得がいかなかったようです。

◇関連作品【No.40】柿蒂茶入



寝てますやん!!



くかー



すね! 師匠!...ん?... 師匠?



さすがお茶を飲んでいるだけあってアイディアも冴えてますね! 師匠!...ん?... 師匠?



そうだな、この^{とがの}梅尾の地に茶園を作り、たくさんの僧侶にもお茶を飲ませよう!



あー、おいしい。お茶というのは本当に眠気を覚まし、気分を爽快にしてくれるなあ。

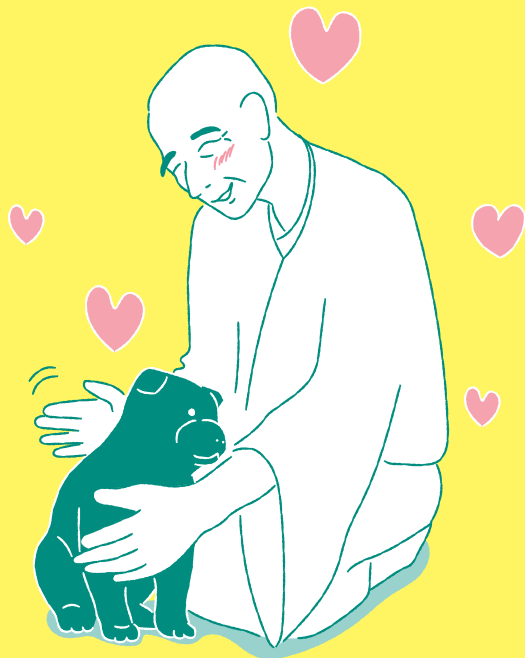
喜海

明恵

お茶で気分爽快! 眠気打破!

臨済宗の開祖である建仁寺の^{ようさい}栄西さんは中国から持ち帰ったお茶の種を明恵さんに贈りました。明恵さんはお茶が座禅中の眠気を覚まし、気分をすっきりとさせてくれることに大変驚きました。その後、日本初のお茶栽培を高山寺で始め、多くの僧にお茶を勧めました。

◇関連作品【No.90】子犬



* 慶派…仏像の彫刻家の一派。

動物大好き！明恵さん

明恵



おー、よしよし、よいしよしよし。この子をなでているだけで幸せな気持ちになれるのう。この、前足と胸元のむちっとした表現、完璧。慶派^{けいはい}わかってる！

喜海



彫刻の犬で幸せになれるとは…。師匠は犬好きですね。



犬だけではないぞ。生きとし生けるもの、全て仏なのじゃ。虫や鳥、馬や牛たちもみな、仏となる素質を持って修行しておる。軽んじてはならんぞ。



なるほど!!さすが師匠、深いですね！



ほれ、ご覧。わしが仲良くしとるタツノオトシゴ(死骸)殿じゃ。この方も仏と同じ尊い方じゃ。



…深いですね。

子犬像は明恵さんがそばにおいて可愛がったと伝えられているものです。明恵さんは鳥や牛、馬などの動物にも人に対するように敬意をもって接していました。